

CHEERS

特別シンポジウム

HTAにおける QOL評価の 意義と課題

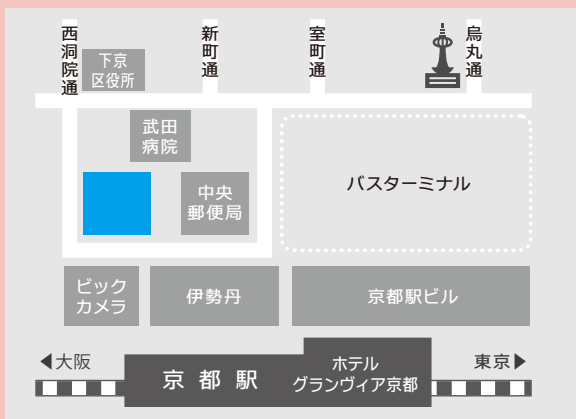


2022.3/5^土

13:30-16:30 開場 13:00

参加費 **無料** 定員 **100名** (申込先着順)

会場 **キャンパスプラザ京都**
4階 第三講義室 (オンサイト開催)



京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939
京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」より徒歩5分

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
徹底した感染防止対策を講じた上で開催します。

※感染状況により実施形態や登壇者の発表方法が変更になる場合がございます。実施形態の変更時は、参加登録時のメールへ案内いたします。

主催 立命館大学 総合科学技術研究機構
医療経済評価・意思決定支援ユニット(CHEERS)

後援 QOL-PRO研究会、ISPOR日本部会

PROGRAM

13:30-14:40

開会挨拶 下妻 晃二郎(生命科学部 教授/CHEERS ユニット長)

特別講演1

「費用対効果評価制度の今後の展開」

福田 敬(国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター センター長)

特別講演2

「HTAにおけるQOLスコアや効用値の
適切な活用方法とは?—公的分析の経験から—」

下妻 晃二郎(生命科学部 教授/CHEERS ユニット長)

14:40-14:50 休憩

14:50-16:30 シンポジウム

HTAにおけるQOL評価の意義と課題

「QOL尺度の開発状況と本邦での利用可能性」

白岩 健(国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター 上席主任研究官)

「QOL値へのマッピング手法の現状と課題」

萩原 康博(東京大学大学院 医学系研究科 生物統計学分野 助教)

「QALYで測れない価値をどう考えるか」

池田 俊也(国際医療福祉大学医学部 教授)

「QOL評価と倫理・社会的側面」

齋藤 信也(岡山大学大学院保健学研究科 教授)

ディスカッション

閉会挨拶 森脇 健介(CHEERS 准教授・副ユニット長)

参加お申し込み

参加ご希望の方は、下記のWEB申込フォームよりご登録ください

<https://business.form-mailer.jp/fms/ccf03520160038>



スマートフォンや
携帯電話からは
このQRコードで
アクセスできます